

# 外国語活動、外国語（英語）

## 令和5年度 授業改善のポイント

- (1) 単元を通して重点的に指導する領域を精選し、ねらいを達成した児童生徒の姿を具体的に想定した上で、単元終末の言語活動を設定する。
- (2) 具体的な課題や場面を設定し、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動を中心に据えた授業を構築する。
- (3) 言語活動における児童生徒の学習状況を基に、「目的や場面、状況等に照らして適切な内容になっているか」（表現内容の適切さ）という点と「英語を正確に使用しているか」（英語使用の正確さ）という点からの指導を行う。
- (4) 学び合いや教師からのフィードバックを通して児童生徒が学んだことや気付いたことを生かすことができるように、再度言語活動を設定する。

## 言語活動を通して資質・能力を育成する単元構想と授業展開

### 【指導事例】

単元を通して重点的に指導する「話すこと〔やり取り〕」の目標

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、①簡単な語句や文を用いて伝えたり、②相手からの質問に答えたりすることができるようにする。

◆【単元終末の言語活動】 来日間もないALTに日本の習慣やマナーについて助言する。

S: ① You don't have to clean the school in your country.  
But in Japan we have to clean our school every day.  
 ALT: Every day? When do you clean?  
 S: When? ② After we finish studying.  
 ALT: Oh, I see. You clean after the sixth period, right?  
 …

#### ポイント(1)

単元終末で目指す発話例を書き起こすなどして、ねらいを達成した児童生徒の姿を明確にし、ねらいと整合した言語活動を設定します。

◆ 1 単位時間ごとの言語活動の計画（中学校第2学年）

第1時	ホームステイについて意見交流をする。
第2時	「日本でのホームステイアドバイス」を書く。
第3時	留学生に家での過ごし方について助言する。
第4時	ホームステイでの困りごとを読んで助言する。
第5時	ホームステイの体験談を読んで概要を捉える。
第6時	ホームステイで大切なことについて話し合う。
第7時	留学生に学校生活について助言する。
第8時	旅行者に日本の習慣について助言する。
第9時	ALTに日本の習慣やマナーについて助言する。

#### ポイント(2)

【単元終末の言語活動】における言語の使用場面や言語の働き（本事例では「助言する」）を、単元を通して複数回取り上げ、言語活動と指導を繰り返しながら、表現内容の適切さや英語使用の正確さを高めていくことができるように指導計画を立案します。

◆ 第8時における言語活動の展開

【めあて】旅行者のケビンの不安を解消するために、日本の習慣についてアドバイスしよう。

- 1 ケビンのブログを読み、マッピングにより伝える内容を整理する。（情報の整理）
- 2 ペアで伝え合う。（1回目の言語活動）
- 3 本時のねらいに沿った発話や表現できずに困ったことを共有する。（中間指導）

Yuka, what will you say to Kevin?

I'll say to him, "In Japanese restaurants, you don't have to leave a tip."

Good idea! He's worried about tipping. Ryo, how about you? What will you say?

I'll say to him, "You must...umm... uh...garbage...えーと、分別...?"

OK. Ryo, you have a great idea! I think it's important in homestay. Everyone, Ryo wants to tell about the garbage rules in Japan. Let's help him! Any ideas?

「分別」という英語は分からないけど、留学生へのアドバイスで使った recycle を使えないかな。

#### ポイント(3)

本時のねらいに沿った発話を取り上げ、目的や場面、状況等に応じた内容や既習事項等の使用に関する児童生徒の学びや気付きを促します。  
 表現できずに困っていることを共有し、どのように表現したらよいか全員で考えたり助言し合ったりすることが大切です。

#### ポイント(4)

学んだことや気付いたことを踏まえ、伝える内容や使う表現を児童生徒が再考した上で、再度言語活動を行います。

- 4 1で整理した情報を吟味し、別のペアで伝え合う。（2回目の言語活動）